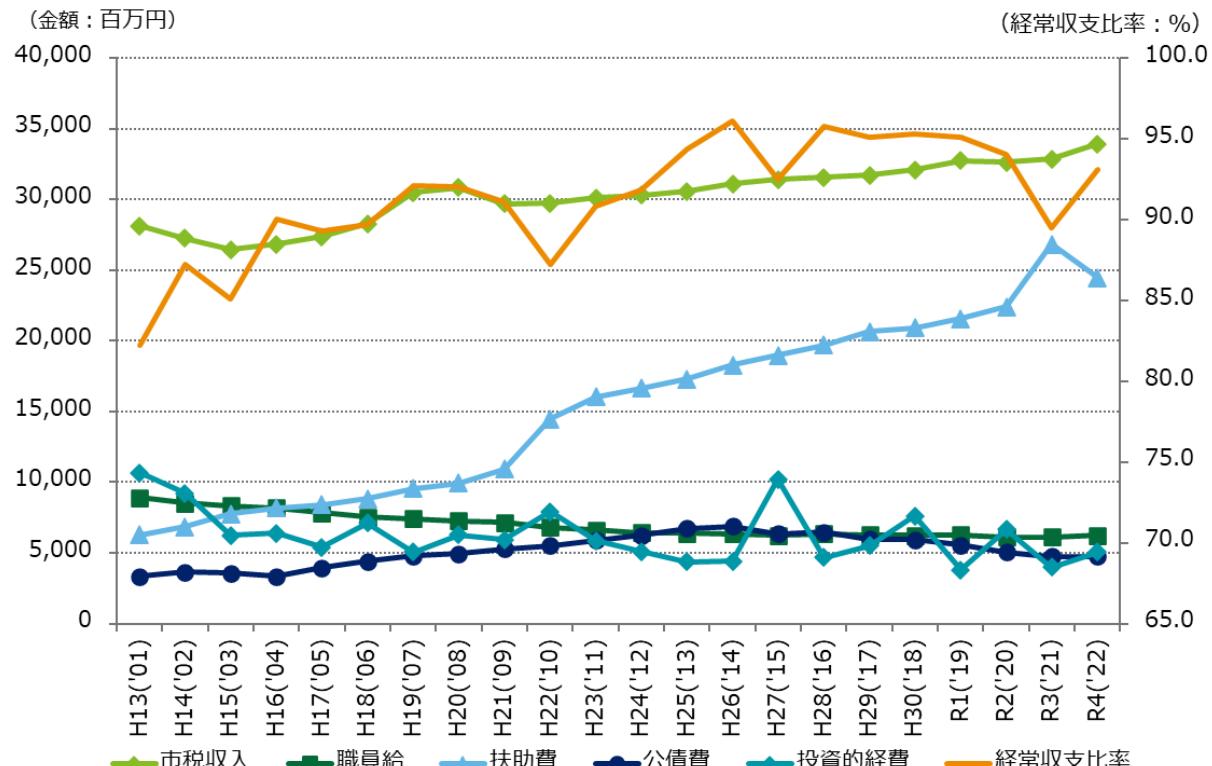


学校施設の適正規模・適正配置について

1. 公共施設等の管理に関する基本的な方針

本市の財政状況については、社会保障関係経費が増大する一方、生産年齢人口の減少などにより市税収入の見通しが不透明であり、将来的に厳しい財政状況が想定されます。

一方で、小・中学校を含めた多くの公共施設やインフラ施設の老朽化が進行しており、それらの更新のために多くの費用が必要になると見込んでいます。



出典：西東京市公共施設等総合管理計画

そのような状況の中、市では「公共施設等総合管理計画」を令和6年3月に策定し、小・中学校を含めた公共施設等の管理に関する基本的な方針を次のとおり示しています。

<基本方針1> 公共施設の量と質の最適化

少子高齢化に伴う人口構造の変化や行政需要の高度化・複雑化、市民のライフスタイルの多様化等に応じて、**公共施設で提供するサービスの需要と供給のバランスを考慮し、今後の方向性を検証した上で、公共施設等マネジメントの取組により、公共施設の量と質の最適化を目指します。**

また、市財政の将来見通しを踏まえた公共施設の総量抑制とライフサイクルコスト縮減の視点を持って、地域特性を考慮した公共施設の集約化・複合化・多機能化を進めることで、学校を核としたまちづくりを推進し、市民サービスの維持と向上を図ります。

2. 小・中学校の建替え

本市の小・中学校の多くは、昭和40年代から50年代にかけて建設された建物であり、施設の老朽化対策が大きな課題となっています。これを踏まえ、本市では、「学校施設個別施設計画(令和6年3月策定)」に基づき、将来的に厳しい財政状況が想定される中、小・中学校の建替えを計画的に進めています。

[今後10年間における平準化した場合の建替えスケジュール]

学校名	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
田無第三中学校	基本設計	実施設計		建設工事	解体工事	外構工事			
保谷第一小学校	基本構想 基本計画	基本設計	実施設計		建設工事	解体工事	外構工事		
保谷小学校		基本構想 基本計画	基本設計	実施設計		建設工事	解体工事	外構工事	
芝久保小学校			基本構想 基本計画	基本設計	実施設計		建設工事	解体工事	外構工事

出典:西東京市学校施設個別施設計画

一方、全国的な小・中学校建替えの動向については、昨今の社会経済情勢の変化が著しく人材不足や物価高騰、資材・設備の調達期間の長期化、民間需要の高まり、働き方改革などを起因とした入札不調等が発生しています。

このため、本市においても、**学校施設の建替えスケジュールや建設費などの見直しも必要と考えられ、小・中学校を現状のまま将来にわたって維持していくことは難しい状況となっています。**

<入札不調等の他自治体事例>

- ✓ 6月の入札不調の後、約47億から約59億に上限額変更を行ったが、12月に再び入札不調となった。【東大和市】
- ✓ 構想時点で約40億の建設費が、設計後に約100億円となった。【小平市】
- ✓ すでに改築事業に着手している学校の工事期間の延長が必要となっており、令和2年3月に示した計画の改築年次案を見直す予定としている。【武蔵野市】

3. 適正規模・適正配置の取組

以上のように、厳しい財政状況が想定される中、小・中学校を含めた公共施設の量と質の最適化が求められており、学校数の見直しも必要と考えます。

一方で、西東京市教育計画に基づく取組により、全ての子どもたちが自ら未来を切り拓いていくために、知識や情報、技術を活用する力、人間関係を形成する力、自立的に行動する力など、これからの中社会を生き抜くために必要な基礎となる能力の育成が求められています。

このため、**子どもたちの教育活動及び学校生活、学校運営など良好な教育環境を将来にわたって維持・向上していく観点から、小・中学校の規模(児童生徒数、学級数など)及び配置(学校数、通学区域など)の適正化について検討を進めていきます。**